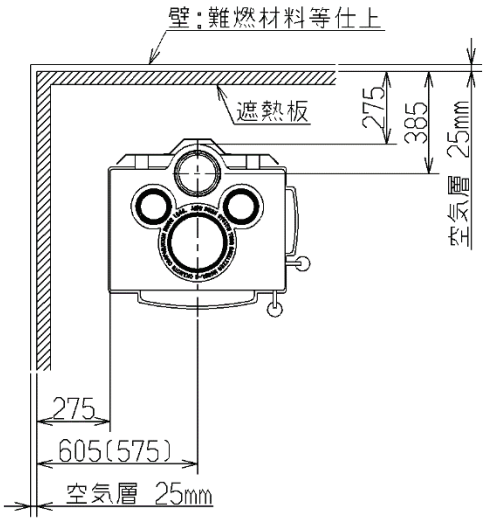
薪ストーブ設置前の検討事項２（設置基準）

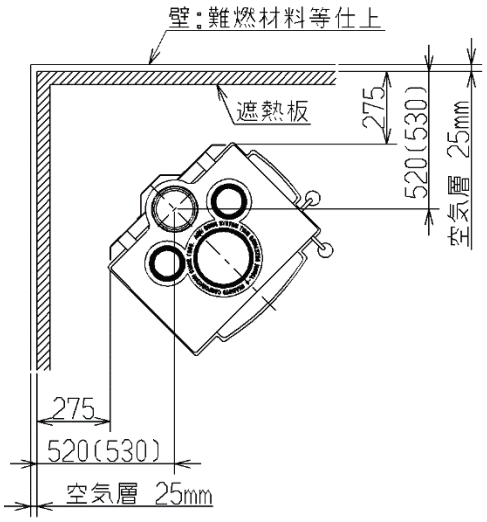
■内装の防火設計が、国土交通省告示第 225 号：「準不燃材料でした内装仕上げに準ずる仕上げ」に基づいて行われている場合

※ 離隔距離については、施工販売店にご相談ください。

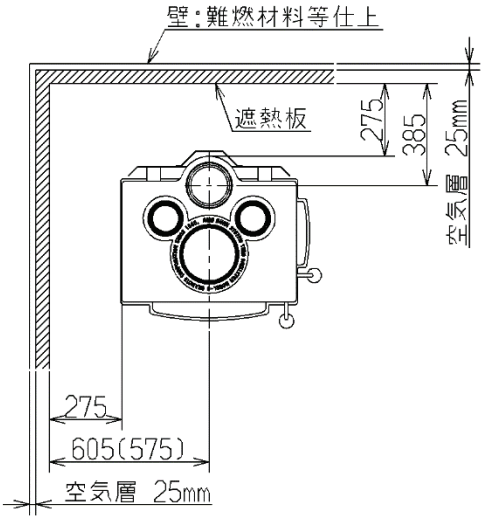
（国土交通省告示第 225 号：「準不燃材料でした内装仕上げに準ずる仕上げ」など）

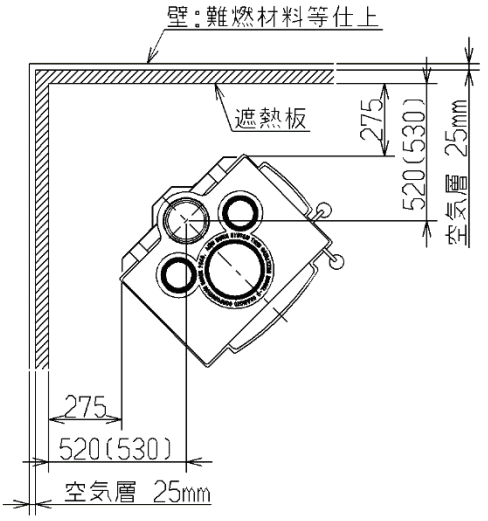
●遮熱板が耐火レンガの時





●遮熱板が耐火レンガ以外の時





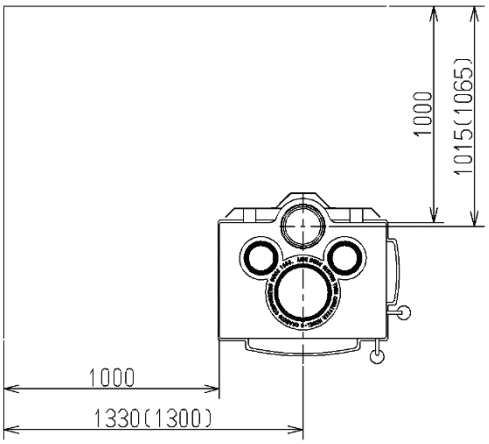
※ （ ）寸法は、AGNI－CC の場合をさします。

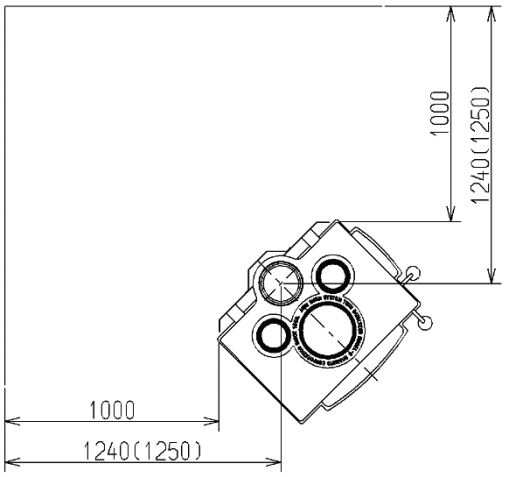
■内装の防火設計が、国土交通省告示第 225 号：「準不燃材料でした内装仕上げに準ずる仕上げ」に基づいて行われていない場合

※ 離隔距離については、施工販売店にご相談ください。

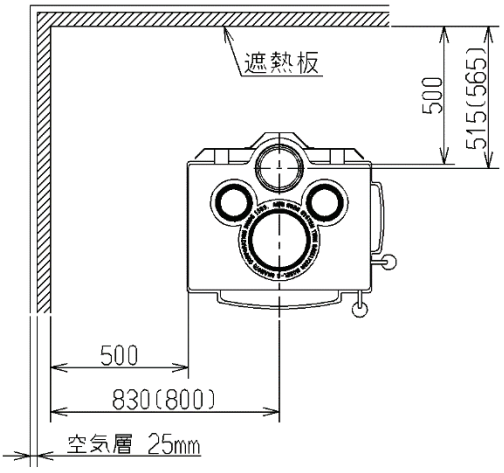
（国土交通省告示第 225 号：「準不燃材料でした内装仕上げに準ずる仕上げ」など）

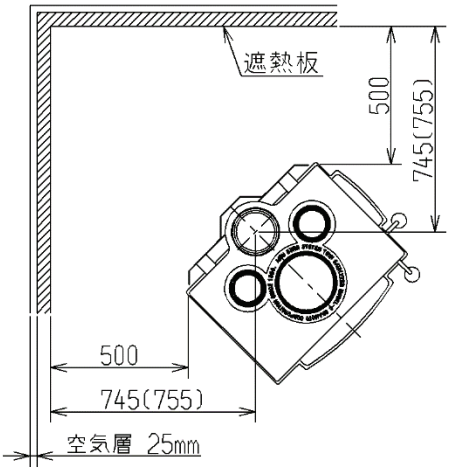
●耐火処理されていない場合（※1 火災予防条例〔例〕）





●耐火処理されている場合（遮熱板が耐火レンガの時）





※1 火災予防条例は、自治体ごとに定められていますのでご確認ください。

※ （ ）寸法は、AGNI－CC の場合をさします。

※ 耐火処理されている壁とは、可燃材と不燃材の間に 25ｍｍ以上の空気層のある不燃材の遮断壁を設けた場合をさします。

※ ストーブの下にも耐火処理が必要です。可燃物の上に直接設置した場合は輻射熱により、火災の原因となる危険性があります。

設置基準に従わない場合、煙突火災や住宅火災など危険な状況を引きおこす場合があります。